

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成25年9月25日

| | | | |
|-----|---------|------|-------|
| 施設名 | 高知青少年の家 | 所管課室 | 生涯学習課 |
|-----|---------|------|-------|

1. 施設の概要

| | |
|--------|---|
| 指定管理者名 | (財)高知県青年会館 |
| 指定期間 | 平成24年4月1日～27年3月31日 |
| 施設所在地 | 吾川郡いの町天王北1-14 |
| 業務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成24年度主催事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子陶芸教室 ・親子ハーブの寄せ植え教室 ・親子消しゴムはんこ教室 ・大人のための初心者パソコン教室 ・パソコンで遊ぼう など |
| 施設内容 | <p>研修及び会議を計画する各種機関・団体・学校・グループ・サークル・企業等に施設を提供している。</p> <p>利用開始日:昭和63年6月1日 施設面積:1230.39㎡ 建築物:鉄筋コンクリート2階建</p> <p>施設概要: 大集会室200名×1 研修室45名×3 会議室20名×1 和室20名×1 和室15名×1 視聴覚室50名×1 談話室(ホール)</p> |
| 職員体制 | 職員:所長1名 事務長1名 指導員2名 事務員1名 合計:5名 ※所長・事務長は青少年体育館と兼務 |

2. 収支の状況

| | | H23年度(決算) | H24年度(決算) | H25年度(予算) |
|-------|---------|------------|------------|------------|
| 収入 | 県支出金 | 19,002,901 | 18,987,619 | 19,020,000 |
| | 事業費収入 | 77,600 | 68,400 | 70,000 |
| | 収入計 (a) | 19,080,501 | 19,056,019 | 19,090,000 |
| 支出 | 事業費 | 477,801 | 462,351 | 457,000 |
| | 管理運営費 | 8,264,610 | 7,890,061 | 7,615,000 |
| | 人件費 | 9,440,932 | 9,796,135 | 10,109,000 |
| | 消費税 | 909,158 | 907,472 | 909,000 |
| | 支出計 (b) | 19,092,501 | 19,056,019 | 19,090,000 |
| 使用料収入 | | 553,140 | 412,710 | 553,000 |

3. 利用実績

(1) 利用団体数

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平均 |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 団体数 | 1,043 | 988 | 858 | 811 | 891 | 918 |

(2) 利用者数

| | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平均 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 人数 | 19,859 | 19,195 | 16,335 | 16,073 | 18,450 | 17,982 |

4. 業務の評価

| 項目 | 状況説明 |
|---------------------|---|
| ①利用拡大のための取り組み | <p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元の小学生の放課後の居場所づくりの1つとしての「パソコン教室」を実施している。 ○主催事業については、子どもと親が体験的な学習をする中で親子のコミュニケーションづくりが行える親子体験教室の開催など、ターゲットを絞った取り組みをしている。 ○事業案内のチラシを持参して近隣の学校を訪問し、施設の利用PRをするなど、施設の利用促進に向けて取り組んでいる。 |
| ②利用者へのサービス向上のための改善策 | <p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○主催事業の全参加者や施設利用団体の代表者に声かけしたりアンケートをお願いして、施設利用者のニーズ等の把握に努めている。 ○施設内の清掃や修繕を適宜行い、利用者が気持ちよく利用できるように取り組んでいる。 ○施設利用者への挨拶や丁寧な対応を心がけている。 |
| ③施設の運営について | <p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ローテーション職場であるため、引き継ぎ事項などに抜かりがないように、職員間で声をかけ合い、お互いの業務にこだわらず、助け合いながら連携して日々の業務にあたっている。 ○業務へのやりがいと指導力向上を図るために、指導員が講師となって主催事業を行っている。 |
| ④利用実績 | ○平成23年度と比較して、利用団体は80団体の増加、利用者は2,377人の増加となった。 |
| ⑤収支の状況 | <p>○平成23年度と比較して利用者は増えたものの減免対象の利用者も増えたため、使用料収入は140千円の減収となった。</p> <p>○管理代行料は、予算額をほぼ全額執行した。(県に2,381円返還)</p> <p>平成24年度決算額 18,987,619円</p> |
| 総合評価 | <p>○指定管理者として仕様書どおりの適正な管理が行われている。</p> <p>○9月以降の閑散期の利用者の増加に向けて、主催事業の見直しや、さらなるPRへの取り組みを期待する。</p> <p>○今後、指定管理者が運営する隣接の宿泊施設との連携や職員の資質向上に向けた取り組みを進めるとともに、青少年教育施設として担うべき役割を充実していくための方向性を明確に打ち出し、仕様書の内容以上の成果をあげ、より魅力的な施設となることを期待する。</p> |

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの